

小項目評価に係る委員意見及び対応案

1 安佐市民病院「イ がん診療機能の充実」 [P 15]

(1) 委員意見

意見
「緩和ケア緊急病床の運用開始」、「緩和ケアチームに活動の充実」については、周辺医療機関への周知が十分ではないため、平成28年度は周知を図ってほしい。

(2) 対応案

委員意見を市立病院機構に伝え、周知を図らせる。

【当初案】

評価理由・コメント等	記号
年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

2 安佐市民病院「オ 低侵襲手術等の拡充」 [P 18]

(1) 委員意見

意見
年次計画を順調に実施してきているが、顕微鏡下脊椎脊髄手術の推進では全国トップクラスの手術件数をこなしているため、「4」と評価できないか。

(2) 対応案

次の理由により、当初案どおりとする。

理由等
顕微鏡下脊椎脊髄手術件数は、全国トップクラスであるものの、25年度が778件、26年度が764件、27年度が750件と、わずかながら年々減少しているため、当初案どおり「3」と評価する。

【当初案】

評価理由・コメント等	記号
年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

3 舟入市民病院「イ 小児専門医療の提供」 【P 2 2】

(1) 委員意見

意見
年次計画を順調に実施してきているが、不登校、神経症、摂食障害等の小児心療科の外来患者数は前年度比で7.3%、アトピー疾患等の小児皮膚科の外来患者数は前年比で15%の増加が認められており、「4」と評価できないか。

(2) 対応案

委員意見を踏まえて、次のとおり修正する。

評価理由・コメント等	記号
小児専門医療の提供に係る広報に努めたことなどにより外来患者数が増加しており、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。	4

【当初案】

評価理由・コメント等	記号
年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

4 医療の質の向上「(2) 医療の標準化の推進」 【P 3 6】

(1) 委員意見

意見
リハビリテーション病院を除きクリニカルパス適用率が年度計画を下回っているため、評価は「2」でよいが、平成27年度は使用頻度の低いものの削除や見直し、再構築等を行ったためでもあるので、継続して努力したことと今後に期待できることをコメント欄に記載してはどうか。

(2) 対応案

委員意見を踏まえて、次のとおり修正する。

評価理由・コメント等	記号
電子カルテシステムの更新等による影響はあったものの、リハビリテーション病院を除いた3病院のクリニカルパス適用率が年度計画を下回っているため、「2」と評価した。	2

【当初案】

評価理由・コメント等	記号
リハビリテーション病院を除いた3病院のクリニカルパス適用率が年度計画を下回っているため、「2」と評価した。	2

5 患者の視点に立った医療の提供

(2) 法令行動規範の遵守 「ア 行動規範の確立と徹底」 [P 4 8]

(1) 委員意見

意見
処分事案が発生したため評価は「2」とあり、自己評価欄にないことが評価委員会のコメント欄にある。処分事案についての説明が必要である。

(2) 対応案

委員意見を踏まえて、次のとおり修正する。

評価理由・コメント等	記号
研修等を実施したものの、2件の懲戒処分事案が発生したため、「2」と評価した。	2

【当初案】

評価理由・コメント等	記号
研修等を実施したものの、処分事案が発生したため、「2」と評価した。	2

6 保健医療福祉行政への協力「(1) 広島市が実施する保健医療福祉施策への協力」 [P 6 5]

(1) 委員意見

意見
レスパイトケアは、本文では平成28年度実施とあるが、すでに実施しているのか。実施していなければ「3」でよいのではないか。

(2) 対応案

次の理由により、当初案どおりとする。

理由等
市や患者家族等からの要望を受けて、平成27年度の年度計画に掲げていなかったレスパイトケアの実施に向けた関係機関との協議や実施体制の確保等の準備を行ったことを評価しようとするものである。なお、今月中旬から実施する予定としている。

【当初案】

評価理由・コメント等	記号
年度計画に掲げていない舟入市民病院のレスパイトケア（重症心身障害児者医療型短期入所事業）の実施に向けた取組については、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。	4

7 人材の確保・育成 (1) 病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応した人材の確保

「オ 看護師確保の推進」 [P72]

(1) 委員意見

意見
看護師確保が全国的に困難な状況において、積極的な取組がなされており受験者数の増加、採用辞退者の減少も認められるので、機構の自己評価どおり「4」と評価できないか。

(2) 対応案

委員意見を踏まえて、次のとおり修正する。

評価理由・コメント等	記号
ガイダンス等に積極的に参加することにより受験者数が増加しており、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。	4

【当初案】

評価理由・コメント等	記号
採用者が予定どおりに確保できていないものの、受験者数の増加や採用辞退者の抑制に取り組んでおり、全体としては年度計画を順調に実施していると認められるため、「3」と評価した。	3

8 人材の確保、育成 (2) 事務職員の専門性の向上

「ア 病院経営に関する知識・経験を有する人材の民間等からの採用」 [P74]

(1) 委員意見

意見
評価「3」としているが、「2」が適当と考える。

(2) 対応案

次の理由により、当初案どおりとする。

理由等
年度計画においては幹部職員への登用までは予定しておらず、病院勤務の経験のある事務職員11人を採用しており、年度計画を順調に実施していることから、小項目評価は当初案どおりとし、全体評価の評価コメントに反映させる。

【当初案】

評価理由・コメント等	記号
年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

9 弾力的な予算の執行、組織の見直し「(1) 弾力的な予算執行」 [P79]

(1) 委員意見

意見
各病院長への適切な権限配分の規程整備の遅れがあるようだが、病院の実態に即した弾力的な予算執行がみられるので、「3」と評価できないか。
年度計画に掲げる「規程整備」がなされなかったため、評価「2」は理解できる。赤字決算との関連が説明できないとしても、予算執行の的確性の評価指標を重要に捉えていることを記載する必要があるのではないか。

(2) 対応案

次の理由により、当初案どおりとする。

理由等
年度計画では、規程整備による病院長への権限配分を予定していたが、規程の改正は行われていない。また、病院長への予算に関する大幅な権限委譲について努力すべきとの意見もあることから、当初案どおり「2」と評価する。なお、赤字決算との関連性については、全体評価のコメントに反映させる。

【当初案】

評価理由・コメント等	記号
各病院長への権限配分のための規程整備が行われていないため、「2」と評価した。	2

10 経営の安定化の推進「(3) 経費の削減」 [P88]

(1) 委員意見

意見
法人の収支の赤字化は機構の経費削減の取り組みとは別な要素で発生していると考えられないか。全体的には年度計画を順調に実施し、多くの項目で年度計画を上回っており、「4」と評価できないか。

(2) 対応案

次の理由により、当初案どおりとする。

理由等
経費の削減に向けた取組として一定の効果はあったものの、収入に対しての経費の削減が十分でなかったことから赤字が生じており、また、年度計画で予定していた取組以外に新たに実施できたものはないことから、当初案どおり「3」と評価する。

【当初案】

評価理由・コメント等	記号
法人の収支が赤字となったものの、経費削減の取組を進めており、全体としては年度計画を順調に実施していると認められるため、「3」と評価した。	3

1 1 経営の安定化の推進「(4) 収入の確保」 [P 9 0]

(1) 委員意見

意見
年度計画を上回っている取組が多く記載されていることから、「4」と評価はできないか。

(2) 対応案

次の理由により、当初案どおりとする。

理由等
年度計画で予定していた取組以外に新たに実施できたものはないことから、当初案どおり「3」と評価する。

【当初案】

評価理由・コメント等	記号
リハビリテーション病院を除く3病院において、病床利用率が年度計画を下回ったものの、医療費個人負担分の収納率は年度計画を上回っており、全体としては年度計画を順調に実施していると認められるため、「3」と評価した。	3